



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月6日

上場会社名 WDBココ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7079 URL <https://www.wdbcoco.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 晴彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 藤原 素行 (TEL) 03-5144-2250
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,192	5.4	259	△10.6	261	△9.1	181	1.2
2020年3月期第2四半期	1,131	—	290	—	288	—	179	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期第2四半期	79.31		75.99					
2020年3月期第2四半期	89.53		—					

(注) 1 当社は、2019年3月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2020年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2 当社は、2019年11月3日付で普通株式1株につき100株の割合で、株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して2020年3月期第2四半期の1株当たり当期純利益を算定しております。

3 2020年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,744	—	1,340	—	76.9	—
2020年3月期	1,774	—	1,237	—	69.7	—

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,340百万円 2020年3月期 1,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	34.00	34.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,418	5.8	475	0.4	475	3.2	332	8.6	145.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期2Q	2,285,000株	2020年3月期	2,285,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	43株	2020年3月期	—株
------------	-----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期2Q	2,284,967株	2020年3月期2Q	2,000,000株
------------	------------	------------	------------

(注) 当社は、2019年11月3日付で普通株式1株につき100株の割合で、株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して2020年3月期第2四半期の期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社が顧客とする製薬業界においては、デジタル化技術や医療技術の実用化を迎えるとともに、さらなる法令順守体制の整備・強化が求められるようになり、持続的に成長していくうえで大きな転機を迎えております。また、継続的な社会保障制度の実現に向けて、診療報酬制度や薬価制度の抜本的な改革を受け収益構造が大きく変化をしております。そのため、創薬業務を含む全てのコストを極力減らし、低コスト体質と革新的な創薬を両立できる企業に向けてドラスティックな体制変革を進めることが求められています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大は社会生活、世界経済に強く影響を与えています。製薬企業においては、新製品の市場導入と浸透、申請・審査対応や臨床試験の遅れなどの影響が生じると共に、業務プロセスの変更や雇用ポートフォリオの再編をしなければならない状況が生まれております。今後も、これらの課題解決を目的とした委託ニーズは高まると考えております。

このような状況の中、当社は、「仕事の成果の保証」と「新しい価値の提供」を通じて、お客様の課題を解決し、医療の未来に貢献することを経営理念として掲げ、製薬会社の医薬品開発における受託業務として「安全性情報管理サービス」を軸に、「ドキュメントサポートサービス」、「開発サポートサービス」、「臨床開発支援サービス」を展開しております。

当第2四半期累計期間の売上高は1,192百万円と前年同期比61百万円（前年同期比5.4%増）の増収となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響を若干受けたものの、既存案件の売上は堅調に推移したこと、さらに、安全性情報管理、ドキュメントサポート、および臨床開発支援の各サービスにて、前第3四半期以降に稼働開始した複数の新規受託案件が売上に寄与したことが要因です。

営業利益は259百万円と前年同期比30百万円（前年同期比10.6%減）の減益となりました。これは、前期売上計上した仕掛案件が大型であったこと、今期の売上原価において新規受託案件の稼働開始に伴う人員の増員により人件費が増加したこと、また、販売費及び一般管理費において受託案件の自動化や業務効率化の促進を行うためのシステム開発人員の増加により人件費が増加したことが主な要因です。なお、2019年12月の公募増資に伴い資本金が1億円を超えたことで外形標準課税の適用対象となったことから、販売費及び一般管理費において租税公課が10百万円増加しました。

経常利益は261百万円と前年同期比26百万円（前年同期比9.1%減）の減益、四半期純利益は181百万円と前年同期比2百万円（前年同期比1.2%増）の増益となりました。これは、主に法人税等14百万円の減少によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期累計期間末における流動資産は1,556百万円と前事業年度末と比べ16百万円（1.1%減）の減少となりました。これは、法人税等並びに配当金の支払いなどによる現金及び預金68百万円の減少、売掛金50百万円の増加によるものです。

(固定資産)

当第2四半期累計期間末における固定資産は187百万円と前事業年度末と比べ13百万円（6.6%減）の減少となりました。これは主に繰延税金資産11百万円の減少によるものです。

(流動負債)

当第2四半期累計期間末における流動負債は328百万円と前事業年度末と比べ140百万円（30.0%減）の減少となりました。これは主に、未払金79百万円の減少、未払法人税等38百万円の減少、並びに未払消費税13百万円の減少によるものです。

(固定負債)

当第2四半期累計期間末における固定負債は74百万円と前事業年度末と比べ7百万円（11.2%増）の増加となりました。これは主に退職給付引当金6百万円の増加によるものです。

(純資産)

当第2四半期累計期間末における純資産は1,340百万円と前事業年度末と比べ103百万円(8.4%増)の増加となりました。これは主に、繰越利益剰余金103百万円の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は962百万円と前事業年度末と比べ68百万円(6.6%減)の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは、12百万円の収入となりました。これは主に、税引前四半期純利益261百万円の計上による資金の増加があったものの、売上債権の増加50百万円、未払金の減少77百万円並びに法人税等の支払い119百万円などの資金の減少があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における投資活動によるキャッシュ・フローは、2百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における財務活動によるキャッシュ・フローは、79百万円の減少となりました。これは主に、配当金の支払い77百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。新型コロナウイルス感染症の収束時期については不透明であることから、その影響が通期に渡り継続したと想定し、その影響を織り込んでおります。2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月14日に公表しました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表しております売上高2,418百万円、営業利益475百万円、経常利益475百万円、当期純利益332百万円のまま、業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,031,131	962,680
売掛金	523,400	573,599
たな卸資産	5,926	1,953
その他	13,003	18,550
流動資産合計	1,573,462	1,556,784
固定資産		
有形固定資産	56,450	54,333
投資その他の資産	144,110	133,012
固定資産合計	200,561	187,346
資産合計	1,774,023	1,744,130
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,889	43,787
未払法人税等	119,311	80,467
賞与引当金	59,142	69,293
受注損失引当金	1,040	2,244
その他	248,993	132,713
流動負債合計	469,377	328,506
固定負債		
退職給付引当金	46,129	52,592
資産除去債務	15,636	15,635
その他	5,533	6,628
固定負債合計	67,299	74,857
負債合計	536,677	403,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	250,583	250,583
資本剰余金	250,583	250,583
利益剰余金	736,180	839,720
自己株式	—	△119
株主資本合計	1,237,346	1,340,766
純資産合計	1,237,346	1,340,766
負債純資産合計	1,774,023	1,744,130

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	1,131,795	1,192,921
売上原価	690,882	763,036
売上総利益	440,912	429,884
販売費及び一般管理費	150,736	170,385
営業利益	290,176	259,499
営業外収益		
受取利息	2	4
助成金収入	—	2,500
営業外収益合計	2	2,504
営業外費用		
支払利息	10	27
株式公開費用	2,000	—
その他	—	0
営業外費用合計	2,010	28
経常利益	288,168	261,975
特別損失		
固定資産除却損	408	—
移転費用	13,927	—
特別損失合計	14,336	—
税引前四半期純利益	273,832	261,975
法人税、住民税及び事業税	93,950	69,648
法人税等調整額	826	11,097
法人税等合計	94,776	80,745
四半期純利益	179,055	181,230

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	273,832	261,975
減価償却費	3,914	5,316
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,634	10,151
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,851	6,462
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△2,554	1,204
受取利息	△2	△4
支払利息	10	27
有形固定資産除却損	408	—
売上債権の増減額(△は増加)	△47,576	△50,198
たな卸資産の増減額(△は増加)	16,417	3,973
仕入債務の増減額(△は減少)	4,388	2,898
未払金の増減額(△は減少)	14,196	△77,511
その他	△47,343	△32,322
小計	215,909	131,971
利息の受取額	2	4
利息の支払額	△10	△24
法人税等の支払額	△61,729	△119,312
営業活動によるキャッシュ・フロー	154,171	12,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△37,520	△2,036
敷金及び保証金の差入による支出	△73,047	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,567	△2,036
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△437	△1,355
自己株式の取得による支出	—	△119
配当金の支払額	△127,000	△77,578
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127,437	△79,054
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△83,833	△68,450
現金及び現金同等物の期首残高	496,434	1,031,131
現金及び現金同等物の四半期末残高	412,601	962,680

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、CRO事業のみの単一セグメントであり、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。